

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No. 3

令和元年5月10日

文責 渡辺富美夫



## 教育センター研究員委嘱状交付式 第1回研究員会・富士山学習研究会



4月22日(月)、平成31年度教育センター研究員委嘱状交付式が行われ、町内小中学校11校から選出された研究員に渡辺政孝教育長より委嘱状が交付されました。教育長から、「教育センターは学校と教育行政をつなぐ役割を担っている。様々な教育課題があるが、その克服にセンターは役割を果たしてきている。富士山学習推進もその大きな柱となっている。また、教育相談を続けてきた結果、子どもたちに寄り添った活動ができていて、重要な活動である。」という旨のお話がありました。

第1回研究員会(富士山学習研究会)において、委員長に船津小深澤隆仁先生、副委員長に勝山小篠原良典先生、小立小持田泰志先生と決まりました。協議では、深澤先生より昨年度の研究経過が、小河原センター長より、今年度の方向性が提案され、確認されました。

### ○昨年度の成果(主なもの)

- ・大石小学校において、中村勝子先生による河口湖新倉堀抜に関する研究授業が実施された。その他にも西浜小、大嵐小、富士豊茂小においても富士山科学研究所との連携による授業が行われた。ワークシートも完成し、体験プログラムも実施され、「ほりぬきがひらく未来」が一つの形になった。
- ・富士山科学研究所や富士山世界遺産センターとの連携による授業づくりが進んでいる。
- ・昨年度実施の富士山に関するアンケートにより、富士山学習の課題が明らかになった。

### ○今年度の方向性

- ・河口湖新倉堀抜の授業「ほりぬきがひらく未来」が町の小学校全校で共通して学べる授業の普及を目指し、公開授業や誰でも使用できるような成果の整理に取り組む。
- ・富士山アンケートで明らかになった「富士山は世界文化遺産であること、構成資産が町内にあることが、子どもたちにあまり認識されていない」という点について取り組んでいく。
- ・富士山学習年間計画の実施と見直しをしていく。
- ・専門機関との連携による出前授業の実施を推進していく。(多くの学習プログラムがある)
- ・授業実践の共有化のため、各校にある授業案や授業資料をセンターに集約し、データベース化していく。

最後に、富士山科学研究所の小俣欽司先生と藤巻桂吾先生から学習プログラムの紹介があり、「学校の希望に沿った授業や専門家による授業も実施できるので活用してほしい。」との話がありました。

～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*～\*

### \*研究テーマ

世界文化遺産である「富士山」を児童生徒に伝えていくための授業実践をどう進めるか

### \*研究活動の柱

- ①全校共通して行える授業の提案とこれまで提案してきた授業の普及
- ②富士山学習年間計画の実施と見直し
- ③専門機関との連携による出前授業の実施
- ④研究員の研修の推進